



翔洋通信

翔洋学園高等学校

学校だより

令和8年10月29日発行 第14号

台風にも負けず…忘れられない思い出を紡いだ沖縄修学旅行でした！

10月21日（水）から23日（金）まで2泊3日の行程で、沖縄修学旅行を行いました。今年の参加生徒は各キャンパスから集った47名。6名の教員で引率しました。

出発前から、沖縄地方への台風30号の接近に、「行程どおり実施できるのか」「そもそも実施できるのか」と気象情報にドキドキ。航空機の欠航や遅延も想定して、様々なシミュレーションをしながら最終的には実施を決定しました。

第1日。まず、羽田空港への現地集合が第一関門です。山形キャンパスや会津キャンパスなど遠方から参加する生徒は、東京に前泊。当日自宅を出た生徒も含めて、約束の8時45分には、空港ロビーに全員集合することができました。この日はまだ、台風の影響はさほど感じられず、航空機の発着時刻が若干遅れた程度で、初日メインの美ら海水族館での学習まで予定通り進めることができました。

第2日。午前はマリン・沖縄文化体験活動。この日は朝から雨で、時折風雨が強まることのある台風の影響を感じる天候でした。2つのマリン体験のうち、体験施設内の内海で行う「マスクスイミング」は実施できましたが、沖へ出る「バナナボート」は中止し、「ドルフィンエンカウンター」にプログラムを変更しました。屋内で行う2つの沖縄文化体験「美ら海染め」「陶芸シーサーづくり」は予定通り実施しました。雨模様の天候のためマリン体験の中止も考えましたが、さすがは南国沖縄です。この時期でも暖かな気温と海水温のため、希望する生徒だけでしたが、「何とか沖縄の海を体験したい！」という思いを実現することができました。

午後は、ひめゆり平和祈念資料館を訪れての学習です。本校では、毎年修学旅行の行先は変わっても、プログラムの中に必ず「平和学習」を入れています。戦後81年になります。戦争の時代を知る人が年々少なくなる中、貴重な戦争体験を語り継いでいる学習施設で学ぶことは大切です。事前学習で「沖縄戦」について学んだ生徒たちの真剣な表情が印象的でした。

夜は、国際通りでの自由夕食と買い物です。時折強まる風雨の中でしたが、たくさんの観光客（修学旅行生もいっぱいでした）で賑わうまちで様々なお店を巡り、生徒たちはお土産を片手に笑顔いっぱいでした。

第3日。琉球文化を学ぶ首里城での学習。（ほぼ傘なしで見学できてよかったです）修復完成間近の首里城ですが、3年前に訪れたときよりもずいぶんきれいに整備された印象でした。

12時45分那覇空港発の航空機で帰路へ。添乗員は、朝から空港に詰めて航空機の欠航や遅延情報を集めて対応していました。幸いにも、台風の影響もなく、予定通り沖縄を発つことができました！

沖縄らしい青い海を満喫することはできませんでしたが、「台風の接近」は別の意味で沖縄らしさの体験だったかも知れません。台風にも負けず、沖縄を学び、満喫する生徒たちの姿が心に残る素晴らしい3日間でした。

どんな学びと思い出ができたのか、事後学習でのまとめがとても楽しみです。…つづく



羽田空港第1ターミナルに集合！



大迫力のジンベイザメ



沈む夕日と沖縄の海で



文化体験：美ら海染めに挑戦！



マリン体験：イルカにタッチ！



首里城：守礼門前で